

<資料>

2019年度鳥取大学教員免許状更新講習実施状況

神谷英雄

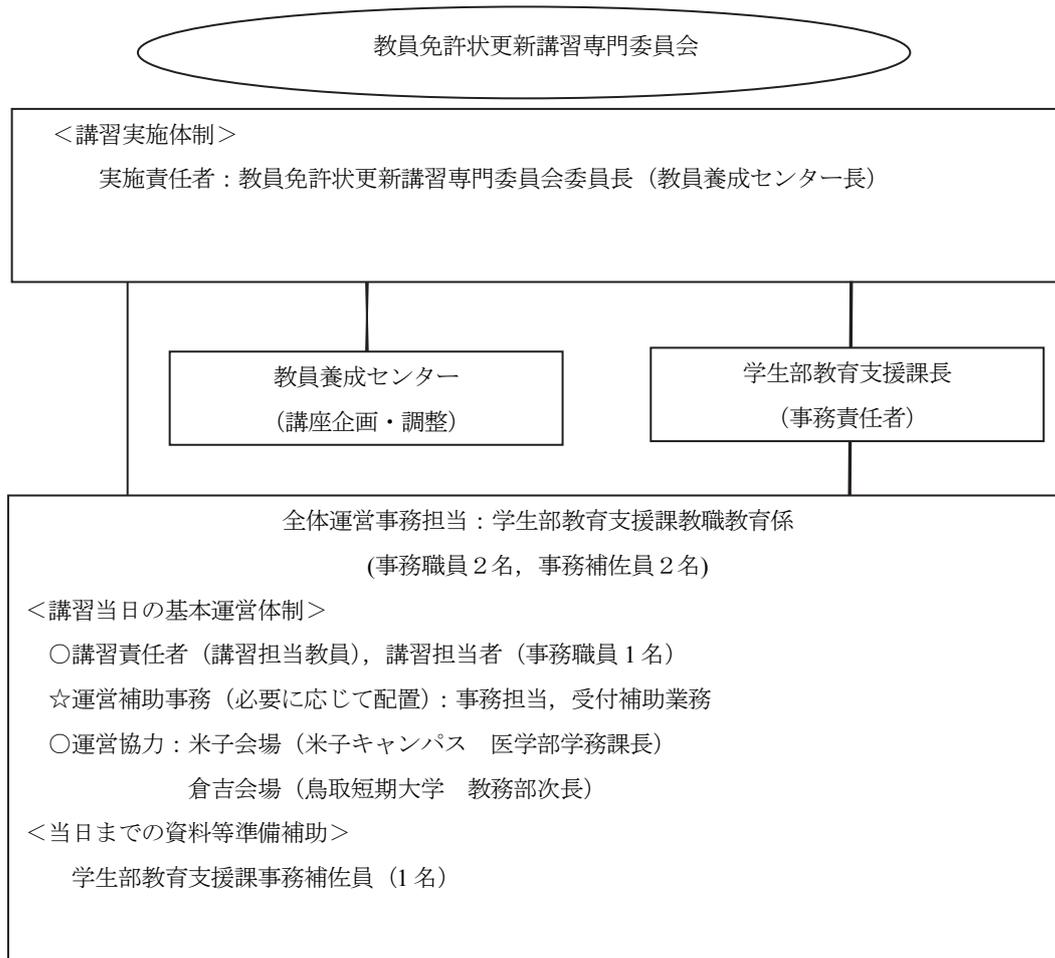
はじめに

2013年2月の大学教育支援機構の組織改組により、教育センター・教職教育部門及び附属学校連携部門を母体に、教員養成部門と附属学校連携部門の2部門を擁する教員養成センターが設置された。教員養成部門では、旧教育センター・教職教育部門から引き続き、教員免許状更新講習の講座企画およびコーディネイトを担当している。担当は、組織改組前（2009年度までは生涯教育総合センター・教職教育部門）の2008年度から12年目となった。

本稿では、2019年度の更新講習の運営体制と受講状況等を取りまとめておく。

1. 運営・実施体制

本学では講習開設にあたり、予備講習実施（2008年度）から全学レベルの教員免許更新講習専門委員会を設置し、運営事務は学生部教育支援課教職教育係が担当している。実施体制としては、本学の教員養成に関する機能強化を目的として設置された教員養成センターにおいて、センター長を中心として講座の企画・調整を行っている。



2. 受講状況

今年度は、鳥取市（鳥取キャンパス）、米子市（米子キャンパス、米子コンベンションセンター）、倉吉市（鳥取短期大学）、船上山少年自然の家の県内4会場で、必修5講習、選択必修15講習、選択62講習を開設した。全体の受講状況は表1のとおりであった。本学の特色として、地方国立大学であるが、昨年度と同じく、隣接の兵庫県北部や島根県、岡山県など県外からの受講者が361人と、受講者数全体の11.6%を占めている点があげられる。

なお、必修・選択必修・選択講習別の受講状況は表2、表3及び表4のとおりである。

表1 更新講習受講者全体状況（単位：人）

必修・選択必修・選択合計 (延人数)	受講定員	受講者数	左の内訳	
			県内	県外
			4,147	3,103

表2 受講状況（必修講習）（単位：人）

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
米子市	教育の最新事情①	大谷直史・ 柿内真紀	130	128	122	6
米子市	教育の最新事情②	大谷直史・ 柿内真紀	130	61	55	6
鳥取市	教育の最新事情③	大谷直史・ 柿内真紀	180	177	158	19
鳥取市	教育の最新事情④	大谷直史・ 柿内真紀	180	115	94	21
倉吉市	教育の最新事情⑤	大谷直史・ 柿内真紀	130	110	102	8
		合計	750	591	531	60

表3 受講状況（選択必修講習）（単位：人）

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	教育相談①	小林勝年	50	49	43	6
米子市	学校を巡る状況の変化と課題への 対応（米子）	大谷直史	100	75	65	10
鳥取市	異文化コミュニケーション	筏津成一	40	35	31	4

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	学校を巡る状況の変化と課題への対応 (鳥取)	大谷直史	100	99	85	14
鳥取市	国家・国民の道徳／民衆の道徳	一盛 真	70	42	31	11
米子市	国際理解及び異文化理解教育	児島 明	40	34	29	5
米子市	情報セキュリティ入門	本村真一	50	36	34	2
米子市	児童生徒の心身の発達とその支援	井上雅彦	70	70	66	4
鳥取市	国際理解教育の実践と、外国にルーツを持つ子どもへの支援	御館久里恵	30	29	24	5
倉吉市	特別支援教育と生涯発達支援 ～乳幼児期と青年期に注目して～	國本真吾	50	49	47	2
倉吉市	体験学習のススメ ～挑戦, 協力, コミュニケーション力を育む～	近藤 剛	32	31	27	4
米子市	新しい英語教育の理論と実践	足立和美	30	5	4	1
鳥取市	子どもたちが過ごしやすい学校園 を作るための教育相談とUDL	石本雄真	80	68	56	12
米子市	教育相談②	井上菜穂	60	54	41	13
鳥取市	オープンデータ概論 ー地域と連携した ICT 教育の実現に向けてー	東野正幸	50	18	11	7
		合計	852	694	594	100

4 受講状況 (選択講習) (単位:人)

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	【授業実践演習 (中学校)】国語	小笠原拓	15	4	4	
	【授業実践演習 (中学校)】社会	高橋健司	15	3	3	

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	【授業実践演習（中学校）】数学	矢部敏昭	15	11	9	2
	【授業実践演習（中学校）】理科	泉直志	15	7	6	1
	【授業実践演習（中学校）】音楽	鈴木慎一朗	15	3	3	
	【授業実践演習（中学校）】美術	武田信吾	15	2	1	1
	【授業実践演習（中学校）】保健体育	関耕二	15	9	9	
	【授業実践演習（中学校）】技術	土井康作	15	2	2	
	【授業実践演習（中学校）】英語	足立和美	15	15	14	1
鳥取市	基礎から分かる昆虫学（鳥取）	中秀司	100	96	86	10
鳥取市	【幼児教育実践演習】	塩野谷斉	20	20	16	4
鳥取市	アメリカ文化と社会	中朋美	40	29	25	4
鳥取市	考古学と関連諸科学による歴史復元	中原計	40	13	10	3
鳥取市	地域の美術史	筒井宏樹	30	7	4	3
鳥取市	マーケティング入門：＜顧客＞の声を聴く	白石秀壽	20	8	6	2
鳥取市	暮らしのなかの生化学	明石欣也	32	31	30	1
鳥取市	地域福祉の推進と学校の役割 ～超高齢社会における「福祉」との 向き合い方を考える～	竹川俊夫	50	49	46	3
鳥取市	新しいものづくり・技術教育の理論 と実践	土井康作	20	19	19	
鳥取市	文化政策入門 ～創造性を生かした 文化的社会への展望～	野田邦弘	50	37	33	4
米子市	地域と学校における健康と体力 －楽しく走る・歩く－（米子）	関耕二	40	40	36	4
米子市	新教育課程を踏まえた算数教育の理 論と実践	矢部敏昭	30	27	25	2
鳥取市	地域の歴史を発掘する ー近世・近 代における地域の「偉人」たちー	岸本覚	40	39	35	4
米子市	基礎から分かる昆虫学（米子）	中秀司	80	77	74	3

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
米子市	日南町で地質調査を体験する	菅森義晃	8	7	5	2
鳥取市	「田園回帰」時代の農山村の地域づくり	筒井一伸	20	6	4	2
米子市	小学生からのプログラミング ーScratchを用いた実習授業ー	井上 仁	15	15	13	2
鳥取市	ビタミン学入門 ービタミンのはたらきと健康増進ー	渡邊文雄	50	49	43	6
鳥取市	手紙を書く ー鑑賞と実際ー	住川英明	30	28	27	1
米子市	ピア・ラーニング（協働学習）による授業デザイン ー理論と実践の方法ー	池田玲子	50	49	45	4
米子市	日南町でご地層を観る	菅森義晃	8	8	8	
鳥取市	18歳選挙権と主権者教育 ー有権者としての意識・行動の観点からー	塩沢健一	30	9	6	3
鳥取市	ゲーミングとシミュレーションで学ぶインセンティブ設計	三浦政司	20	19	15	4
米子市	新しい国語科の授業づくり (小学校編)	小笠原拓	40	38	34	4
鳥取市	国語科(高校「現代文」)教育の可能性	岡村知子	30	5	5	
鳥取市	新しい音楽教育の理論と実践	鈴木慎一郎	30	30	26	4
鳥取市	楽しい造形表現の実践 ～教材づくりと活動内容の設定～	武田信吾	30	30	28	2
鳥取市	新しい国語科の教材づくり (中学・高校編)	小笠原拓	40	18	13	5
船上山 少年 自然の家	自然体験の理論と実践	大谷直史	20	20	17	3
鳥取市	英語ライティング指導の理論と実践	滝波稚子	30	19	11	8
鳥取市	論理的思考力を可視化するためのレポート作成技術	桐山 聡	40	38	31	7

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
米子市	生命活動を担う細胞の不思議とその研究アプローチ	初沢清隆	40	14	8	6
倉吉市	造形教育のための素材学習	宮崎百合	30	30	29	1
鳥取市	地域と学校における健康と体力 ー楽しく走る・歩くー (鳥取)	関 耕二	40	37	34	3
鳥取市	ご地層を見る	菅森義晃	8	8	7	1
米子市	教員が知っておきたい生徒の健康: とっさの時の対応と心肺蘇生法の新しい教育法の紹介	本間正人	50	49	47	2
鳥取市	最先端エレクトロニクスの世界	伊藤良生	40	11	8	3
米子市	主体的・対話的で深い学びの算数教育	矢部敏昭	30	28	26	2
鳥取市	私たちの身の周りの放射線	山野好章	30	21	18	3
倉吉市	世代のこころをつなぐ生涯発達心理学と世代間交流	南 潮	80	78	73	5
鳥取市	地域経済の現状と今後の展望	多田憲一郎	50	10	9	1
倉吉市	子どもの成長発達と音楽表現	羽根田真弓	40	39	39	
鳥取市	ネットワークと教育	大森幹之	50	49	48	1
鳥取市	フランス革命期の非キリスト教化運動から見えてくるもの ※開講取り止め	柳原邦光	60			
鳥取市	物理・数学の機械工学への応用	小野勇一	40	7	5	2
米子市	小児保健と看護	南前恵子	70	70	66	4
倉吉市	小学校「英語」・「外国語活動」の基礎と実践	川口康子	30	28	26	2
鳥取市	鳥取砂丘の動物相・群集生態学と保全	鶴崎展巨	20	19	15	4
鳥取市	セキュリティ対策ことはじめ	木本雅也	40	39	34	5

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	地域学入門	柳原邦光	60	7	4	3
鳥取市	数字のウソー統計数字で騙したり騙されたりしないために	小野達也	30	11	8	3
鳥取市	生物多様性を中心に郷土の自然を考えるー博物館を活用してー	永松 大	20	16	12	4
鳥取市	鳥取砂丘の教育活用をめざしてー地理・地学編ー	小玉芳敬	24	24	18	6
倉吉市	絵本を教育・保育の場に活かす	齊木恭子	45	45	42	3
鳥取市	「宇宙教育」への招待	三浦政司	20	20	19	1
鳥取市	ドローンで探る鳥取砂丘オアシスの謎	齊藤忠臣	20	19	12	7
鳥取市	【授業実践演習 (小学校)】国語 ※開講取り止め	小笠原拓	20			
	【授業実践演習 (小学校)】社会 ※開講取り止め	高橋健司	20			
	【授業実践演習 (小学校)】算数	矢部敏昭	20	11	10	1
	【授業実践演習 (小学校)】理科	泉 直志	20	2	1	1
	【授業実践演習 (小学校)】生活	福山寛志	20	4	4	
	【授業実践演習 (小学校)】音楽	鈴木慎一郎	20	9	5	4
	【授業実践演習 (小学校)】図画工作	武田信吾	20	11	9	2
	【授業実践演習 (小学校)】体育 ※開講取り止め	関 耕二	20			
	【授業実践演習 (小学校)】外国語	足立和美	20	9	7	2
鳥取市	きのこを作ろう	霜村典宏	40	38	37	1
鳥取市	困難を抱える子の理解と把握ー今あらためて学ぶ発達障害ー	石本雄真	50	49	48	1
鳥取市	【特別支援教育実践演習】 知的障害のある子どもの理解と支援 (公開研究会)	三木裕和	20	20	17	3

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	心理教育入門	石本雄真	50	49	44	5
		合計	2,545	1,818	1,617	201

3. 今後の講習運営に向けて

今年度の講習運営を振り返り、講習運営に関して効果があった点、困難だった点、及び今後の検討課題を簡単にとりまとめておく。

(1) 運営上の効果があった点

- ・必修講習は、例年と同じく東部地区（鳥取市）・西部地区（米子市）・中部地区（倉吉市，鳥取短期大学）で開設し、地理的バランスがとれた。また、受講見込み者数の関係から、東部地区・西部地区では2講習開催し、需要に応えることができた。
- ・選択必修講習は、東部地区7講習，西部地区6講習，中部地区2講習を開設し、需要に応えることができた。
- ・選択講習は、62講習開設（うち1講習を開講取り止め，1講習の一部を開講取り止め）した。受講者数の少ない講習もあったが、おおむね受講生からの評判も良く，需要に応えることができた。
- ・必修講習については、引き続き，ざぶとん，ひざかけ（選択講習については，受講生に持参することを促した）を準備する等，教室の座席等の環境改善に一定の効果があった。
- ・受講者の駐車スペースの確保について，必修講習や受講者の多い選択必修講習，選択講習は基本的に土日祝日開催とし（西部地区で平日開催とした講習については，会場を米子コンベンションセンターとした。），また，受講者にはできるだけ公共交通機関を利用して来学願うことを周知したため大きなトラブルはなかった。

(2) 運営上，困難だった点

- ・入学試験などの行事と開催時期が重なり運営上難しい面があった。
- ・教室外で行う講習の期日設定（季節や天候との兼ね合い）が難しかった。
- ・台風接近時の受講者への連絡準備に手間取った（当日朝6時時点の気象状況により判断し，中止の場合はHPにて周知）。
- ・開講取り止めの講習を受講予定であった者への他の講習への振り替えの調整に手間取った。
- ・米子コンベンションセンターでの実施では，部屋の借用時間の都合上，受付開始が遅れ，若干慌ただしくなった。

(3) 今後検討が必要な点

- ・講習中の緊急時（特に災害や休日に急病人が出た場合）における速やかな対応が必要である。
- ・平日の開催については，受講者専用の駐車スペースを確保する等の対策が必要である。

神谷英雄（学生部教育支援課教職教育係 係長）